2024（令和6）年度

千葉大学教育学部附属中学校　公開研究会

全体主題：多様な実践から考える個別最適な学び～学習者の視点と授業者の視点～(２年目)

千葉大学教育学部附属中公開研究会　国語科授業研究会のご案内

日時・形態	令和6年6月28日（金）　YouTubeによる動画の事前配信、対面授業、対面・オンラインハイブリッド協議会
国語科研究主題	アクティブに言語運用する学習者の育成ー「プラスワン」の工夫でつくる個別最適な学びー
指導助言者	大木　圭先生　（千葉県教育庁主幹兼教育課程指導室長）
共同研究者	寺井　正憲先生（千葉大学教育学部教授）
司　会　者	大澤　由紀　　（本校職員）

	授業者	展開学級	領 域	授 業 提 案 の 概 要
事前録画 ・ 対面授業 13:10 ～ 14:00	牧野太輝	２年C組	話すこと ・ 聞くこと	**個の課題意識に基づいて選択する「話すこと・聞くこと」のコース別学習** 新年度当初の適切な実態把握に基づいた「話すこと・聞くこと」の単元学習を行います。見取った実態に応じて、全体として付けるべき力と個人が付けるべき力を想定し、一斉学習とコース別学習を合わせた単元を構想しました。一斉学習では、学習指導要領の第２学年「話し合うこと」の指導事項を身に付けることを目指します。この話合いを動画で振り返り、生徒は自分の課題や強みを捉えます。コース別学習では、話題、目的、形態が異なる話合いを行う４つのコースから、自分の課題に応じて生徒が選択して学習します。 対面授業では、事前配信した授業後の単元における同学級の話合いの様子を見ていただきたいと考えています。
事前録画	長谷川正裕	１年C組	読むこと	**令和時代の情報の集め方を考える** 本年度は『大村はま国語教室第７巻』「読書生活の指導」の内容を踏まえ、年間を通して読書指導に取り組もうと考えています。 今回の公開研究会は大村はま実戦の「あることがらを調べるために、適当な本を探す」にプラスワンを行って、、多様なメディアが身近に存在する現代における「情報の集め方」について生徒たちと考えていきます。
分科会 14:15 ～ 16:10	国語科分科会「アクティブに言語運用する学習者の育成ー「プラスワン」の工夫でつくる個別最適な学びー」 国語科　祐　みさき			